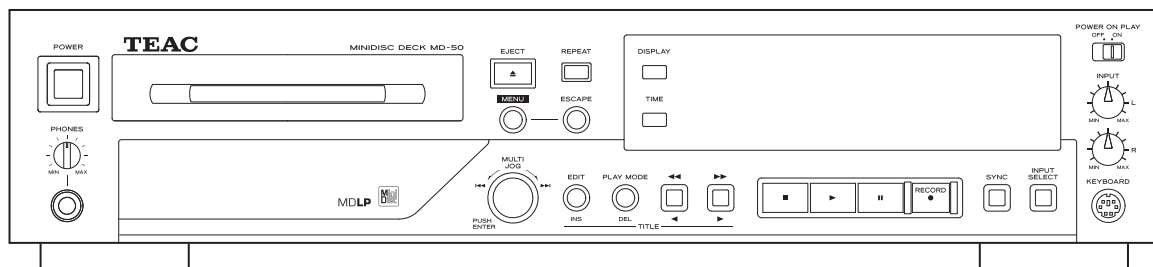
D01091901C*

取扱説明書

MD-50

ミニディスクデッキ

お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。

火災·感電の原因となります。

分解禁止

この機器のキャビネットは絶対に外さない。

キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

分解禁止

この機器を改造しない。
火災・感電の原因となります。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。
また、接続は指定のコードを使用する。
それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

電源を入れる前には音量を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。
故障、火災、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 乾電池に関する注意

禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 注意 電池に関する注意

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1232)×1個
乾電池(単4形、SUM-4)×2本
入出力コード×2本
取扱説明書、保証書

使用上の注意

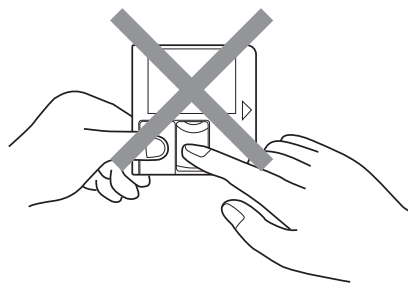
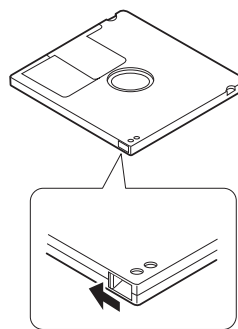
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

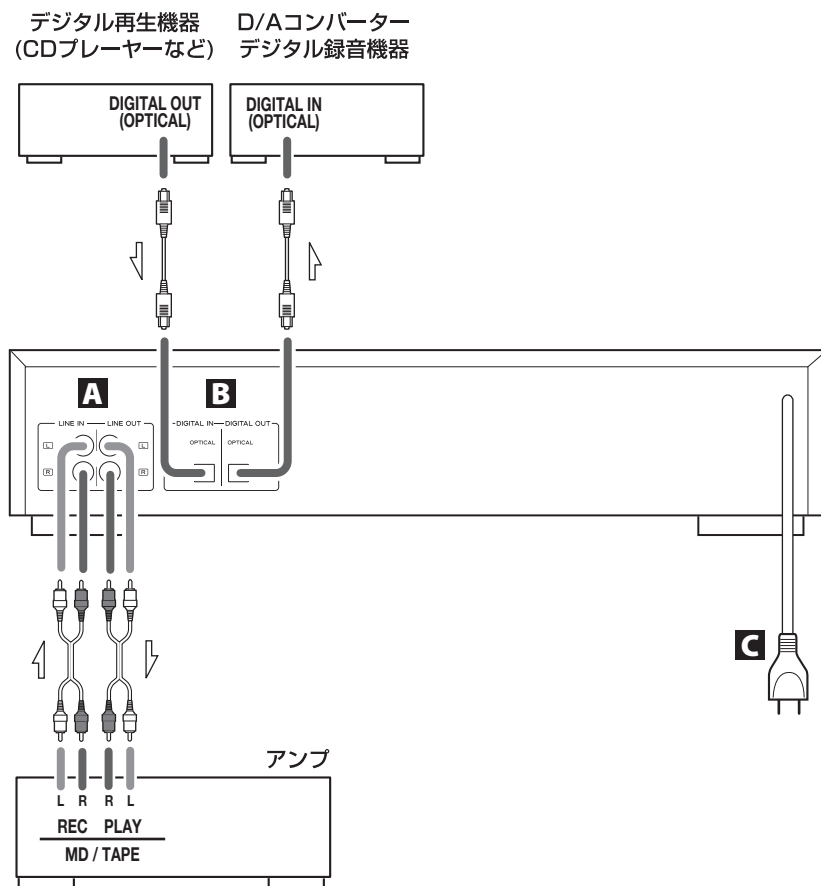
U-TOCとは

録音用MDでは、録音した曲の情報(開始アドレス、終了アドレス、タイトルなど) をU-TOC というところに記録するので、ここを書き換えるだけで簡単に編集することができます。
(U-TOC : User Table of Contents)

MDについて

MDはカートリッジに収納されており、手軽に取り扱うことができますが、カートリッジの汚れやそりなどは誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

- 無理にシャッターを開けたり、中のディスクに触れたりしないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。
- MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
- MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれたり浮いたりしていると、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。ラベルを重ねて貼らないでください。
- MDが本機にセットされた状態では、カートリッジのシャッターが常に開いた状態になっています。ほこりを防ぐために、録音・再生後はMDを本機から取り出して保管してください。
- 本機を移動するときは、MDを取り出してください。

誤消去防止つまみ

MDには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止つまみがついています。録音後、つまみをスライドさせて孔が開いた状態にすると、録音できなくなります。再び録音するときは、孔が閉じた状態に戻してください。

接　続

A 入出力端子 [LINE IN/OUT]

アンプのMD入出力端子に接続します。白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。
プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル光入出力端子 [DIGITAL IN/OUT]

本体裏面または前面のデジタル光入出力端子を、CDプレーヤー、MDデッキ、D/Aコンバーターなどのデジタル光端子と光ケーブルで接続してください。

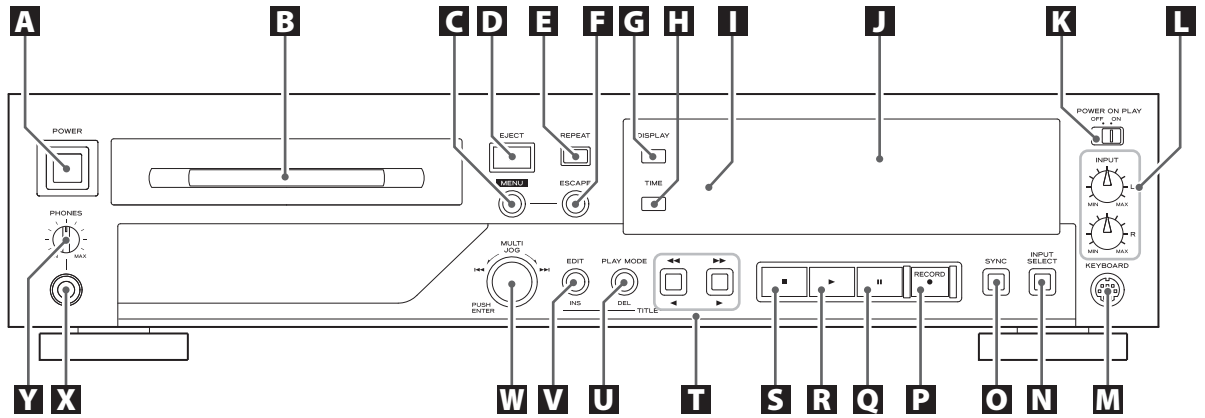
● 本機の光デジタル端子はシャッター式です。端子の向きを合わせてしっかり差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。

C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**

⚠ **電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

各部の名称(本体)

A 電源ボタン [POWER]

電源をオン/オフします。

B MD挿入口

電源をオンにしないと、MDの出し入れはできません。

C メニューボタン [MENU]

このボタンを押すと設定のモードになります。(12ページ)

D イジェクトボタン [EJECT]

MDを取り出すときに押してください。
録音/編集が終わったら、電源を切る前に必ずこのボタンを押してMDを取り出してください。

E リピートボタン [REPEAT]

リピート再生のモードを切り換えます。(19ページ)

F エスケープボタン [ESCAPE]

各種設定時、このボタンを押すと、設定メニューの上の階層に戻ります。また、プログラムの曲を削除する時に使用します。

G ディスプレーボタン [DISPLAY]

停止中にこのボタンを押すと、挿入中のディスクのタイトルを表示し、再生中または一時停止中に押すと、現在のトラックタイトルを表示します。(25ページ)
タイトル入力時は、文字種の切り換えを行います(32ページ)

H タイムボタン [TIME]

ディスプレーの時間表示を切り換えます。(25ページ)

I リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

J ディスプレー

様々な情報を表示します。

K パワーオンプレースイッチ [POWER ON PLAY]

タイマー再生のオン/オフを切り換えます。(34ページ)

L 録音レベル調節つまみ [INPUT]

アナログ録音のレベルを調節するときに使用します。(21ページ)

M キーボード端子 [KEYBOARD]

市販のPS/2インターフェースのキーボードを接続してタイトル編集ができます。(33ページ)

N 入力切換ボタン [INPUT SELECT]

録音するときに、入力を切り換えます。(21ページ)

O シンクロ録音ボタン [SYNC]

シンクロ録音のオン/オフを切り換えます。(23ページ)

P 録音ボタン [RECORD ●]

録音可能なMDが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。(21ページ)
MDが入っていないときに押すと、モニター状態になります。(22ページ)

Q 一時停止ボタン [❚❚]

停止/再生中にこのボタンを押すと、一時停止状態になります。録音中にこのボタンを押すと、録音待機状態になります。

R 再生ボタン [►]

停止/一時停止中にこのボタンを押すと、再生を開始します。
録音待機中にこのボタンを押すと、録音を開始します。

S 停止ボタン [■]

再生/録音、各種操作を停止します。

T サーチボタン [◄◄/►►] [◄/►]

再生中にサーチボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。(15ページ)
グループ再生モード時、停止状態で押すと、グループ選択を行います。(16ページ)
タイトル入力モード時、カーソルの移動を行います。(32ページ)

U プレイモードボタン [PLAY MODE] 削除ボタン [DEL]

再生モードを切り換えます。(17/18ページ)
再生モードは、電源を切っても記憶しています。
タイトル入力モード時、このボタンを押すと、カーソル位置の文字を削除します。(32ページ)

V 編集ボタン [EDIT] [INS]

編集モードのオン/オフをします。(26ページ)
タイトルの編集中、このボタンを押すと、カーソル位置に空白を挿入します。(32ページ)

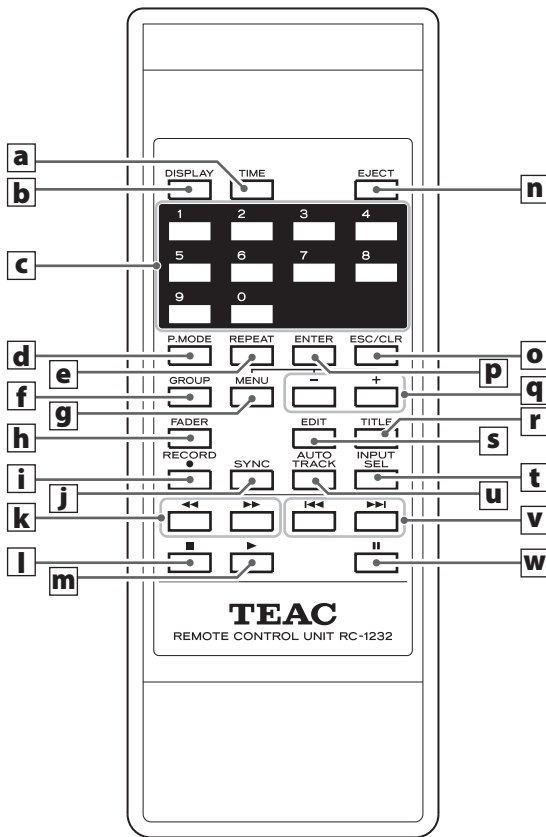
W マルチジョグ [MULTI JOG, ENTER, SKIP|◄◄ / ►►|]

各種選択に使用します。マルチジョグを押すと各種設定を保存/確定します。
再生中は選曲やスキップに使用します。

X ヘッドホンジャック

Y ヘッドホン用音量調節つまみ [PHONES]

ヘッドホンを使用するときは、ヘッドホンジャックにヘッドホンプラグを差し込み、音量調節つまみをまわして適切な音量に調節してください。

各部の名称(リモコン)

a タイムボタン [TIME]

ディスプレーの時間表示を切り換えます。(25ページ)

b ディスプレーボタン [DISPLAY]

停止中にこのボタンを押すと、挿入中のディスクタイトルを表示し、再生中または一時停止中に押すと、現在のトラックタイトルを表示します。(25ページ)
タイトル入力時は、文字種の切り換えを行います(32ページ)

c 数字ボタン

選曲などに使用します。

d プレイモードボタン [P.MODE]

再生モードを切り換えます。(17/18ページ)
再生モードは、電源を切っても記憶しています。

e リピートボタン [REPEAT]

リピート再生のモードを切り換えます。(17ページ)

f グループボタン [GROUP]

グループ再生モードのオン/オフを行います。(16ページ)

g メニューボタン [MENU]

このボタンを押すと設定のモードになります。(12ページ)

h フェードボタン [FADER]

録音待機中に押すとフェードイン録音、録音中に押すとフェードアウト録音を行います。(24ページ)

i 録音ボタン [RECORD ●]

録音可能なMDが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。(21ページ)
MDが入っていないときに押すと、モニター状態になります。(22ページ)

j シンクロ録音ボタン [SYNC]

シンクロ録音のオン/オフを切り換えます。(23ページ)

k サーチボタン [◀◀ / ▶▶]

再生中にサーチボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。(15ページ)
グループ再生モード時、停止状態で押すと、グループ選択を行います。(16ページ)
タイトル入力モード時、カーソルの移動を行います。(32ページ)

l 停止ボタン [■]

再生/録音、各種操作を停止します。

m 再生ボタン [▶]

停止/一時停止中にこのボタンを押すと、再生を開始します。
録音待機中にこのボタンを押すと、録音を開始します。

n イジェクトボタン [EJECT]

MDを取り出すときに押してください。
録音/編集が終わったら、このボタンを押してMDを取り出してください。

o エスケープ/クリアーボタン [ESC/CLR]

各種設定時、このボタンを押すと、設定メニューの上の階層に戻ります。また、プログラムの曲を削除する時に使用します。
タイトル入力モード時、カーソル位置の文字を削除します。

p エンターボタン [ENTER]

各種設定を保存/確定します。

q − / ＋ボタン

設定モード時、設定項目や設定値を選択します。

r タイトルボタン [TITLE]

このボタンを押すとタイトル入力モードになります。(31/32ページ)

s 編集ボタン [EDIT]

このボタンを押すと編集モードになります。(26ページ)

t 入力切換ボタン [INPUT SEL]

録音するときに、入力を切り換えます。(21ページ)

u オートトラックボタン [AUTO TRACK]

オートトラックモードを選びます。設定項目のオートトラックでも選ぶことができます。(13/24ページ)

v スキップボタン [I◀◀ / ▶▶I]

各種操作の選択に使用します。
再生中は選曲やスキップに使用します。

w 一時停止ボタン [II]

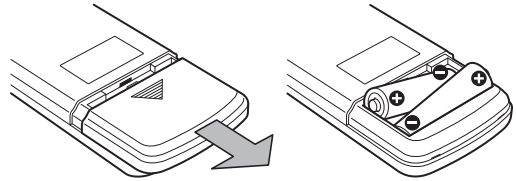
停止/再生中にこのボタンを押すと、一時停止状態になります。録音中にこのボタンを押すと、録音を一時停止して録音待機状態になります。

リモコンの使用方法

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールされる他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでお使いください。**

リモコンを使っての誤操作防止のために

12〜14ページの「設定」の手順に沿って、「リモコン操作の設定(IR_REMOTE)」で「制限あり(Disable)」に設定してください。メニューボタン(MENU)、−ボタン、＋ボタン、エンターボタン(ENTER)、エスケープ/クリアーボタン(ESCAPE/CLR)以外の操作を受け付けなくすることができます。

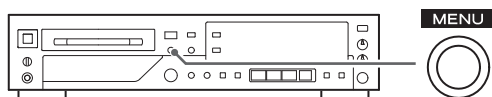
- 上記の操作で「Enable」に設定すると、通常通り、リモコンからの操作を受け付けるようになります。

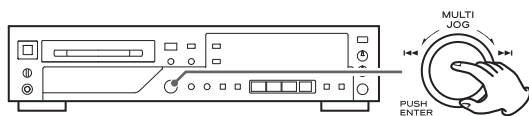
設　定

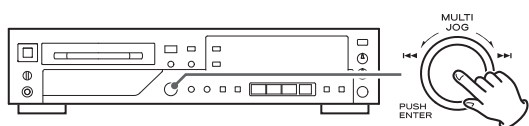
録音などの操作をする前に、必要な設定を行ってください。

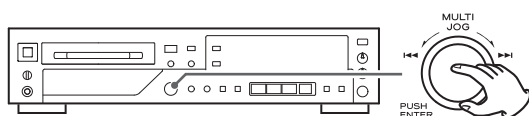
設定方法

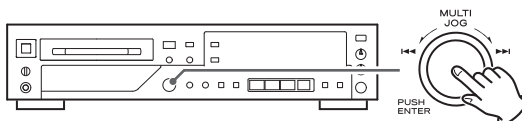
1 メニューボタン(MENU)を押す。

設定モードに入り、ディスプレーに設定項目が表示されます。

2 設定する項目を選択する。

マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの －/＋ボタン)を使って、設定項目を選択します。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)を押す。

リモコンではエンターボタン(ENTER)を押します。
ディスプレーに選択した設定項目名と現在の設定値が表示されます。

4 希望の設定値を選択する。

マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの －/＋ボタン)を使って、希望の設定値を選択します。

5 マルチジョグ(MULTI JOG)を押す。

リモコンではエンターボタン(ENTER)を押し確定します。
ディスプレーが通常表示に戻ります。

● 設定項目名と設定値を表示中に本体のエスケープボタン(ESCAPE)、またはリモコンのエスケープ/クリアーボタン(ESCAPE/CLR)を押すと、設定項目選択表示に戻ります。

● 時間表示など、確認のみで設定のない設定項目もあります。

● 設定中(または確認中)、メニューボタン(MENU)を押すと、通常表示に戻ります。

●「IR REMOTE?」で「Disable」に設定すると、本機が特定のボタンを除いてリモコンからの操作を受け付けなくすることができます。「Enable」に設定すると、リモコンからの全てのボタン操作が可能となります。

● 各設定は、電源を切っても保持されます。

設定項目

録音モード (REC MODE?)

録音モードを設定します。

「ST」　：最長80分のステレオ録音
「MONO」：最長160分のモノラル録音
「LP2」　：最長160分のステレオ録音
　　　　(2倍長時間録音)
「LP4」　：最長320分のステレオ録音
　　　　(4倍長時間録音)

- 上記は80分ディスクを使用した場合の録音時間です。
- ひとつのMDに、異なるモードの録音を混在させることもできます。

入力レベル設定モード (REC VOLUME?)

入力レベルの設定をします。

アナログ入力の録音時、録音レベル調節つまみ(INPUT)で適切なレベルに調節できない場合や、デジタル入力の録音でレベル調節が必要な場合に、使用します。
設定範囲は−∞, −48 ～＋12dBです。

オートトラックモード (A_TRK?)

オートトラックモードを設定します。

「Level」：
アナログ入力の録音時、入力信号レベルが2秒以上−41dBを下回った後、−41dBを超える入力を検出したとき、新しい曲番を追加します。入力ソースがCD/MD以外のデジタル信号のときは、−61dBでレベルを検出して新しい曲番を追加します。
入力ソースがCDまたはMDのとき、曲番情報とレベル両方を検出したときに新しい曲番を追加します。

「Time」：
オートトラック動作時間(A_TRK TIME?)で設定した時間が経過すると自動的に新しい曲番を追加します。この動作時間は、設定の「A_TRK TIME?」を使って設定します。

「OFF」：
録音時、新しい曲番は追加されません。手動で追加してください。(24ページ)

- リモコンのオートトラックボタン(AUTO TRACK)でも切り換えることができます。

オートトラック動作時間設定モード (A_TRK TIME?)

A_TRKで「Time」を選択した場合の動作時間を設定します。

設定範囲は1分単位で1 ～ 10分です。

フェードイン時間設定モード (FADE IN?)

録音を開始するときのフェードイン時間を設定します。

設定範囲は1秒単位で1 ～ 10秒です。

フェードアウト時間設定モード (FADE OUT?)

録音を終了するときのフェードアウト時間を設定します。

設定範囲は1秒単位で1 ～ 10秒です。

グループモード (GROUP?)

グループモードのオン/オフを切り換えます。

収録曲をグループ分けすることで、選択したグループ内の曲のみが再生対象になります。プログラム再生、リピート再生などもすべてグループ内で行われます。

● リモコンのグループボタン(GROUP)でも切り換えることができます。

キーボードタイプ設定モード (KEYBOARD?)

接続するキーボードのタイプを設定します。

市販のPS/2インターフェースのキーボードを本体前面のKEYBOARD端子に接続すると、選曲や編集、タイトル入力などをキーボードで行うことができます。

「JP」
日本語対応キーボードの場合選択します。
「US」
英語対応キーボードの場合選択します。

リモコン設定モード (IR REMOTE?)

リモコン操作の制限設定をします。

リモコンを使っての誤操作を防止するために、リモコンのメニューボタン(MENU)、ーボタン、＋ボタン、エンターボタン(ENTER)、エスケープ/クリアーボタン(ESCAPE/CLR)以外のボタン操作を受け付けなくすることができます。

「Disable」　：**リモコン操作に制限をかけます。**
「Enable」　：**通常通りのリモコン操作ができます。**

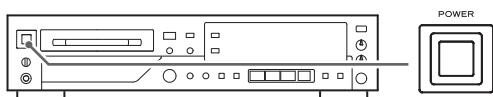
総再生時間確認モード (PLAY_TIME?)

MDデッキの総再生時間を確認します。

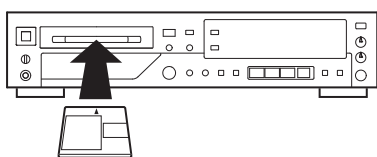
総録音時間確認モード (REC_TIME?)

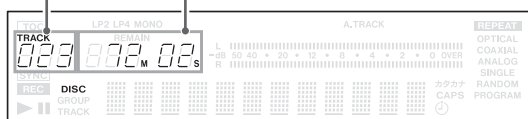
MDデッキの総録音時間を確認します。

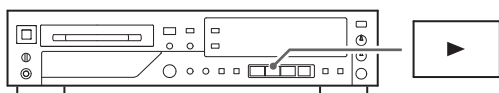
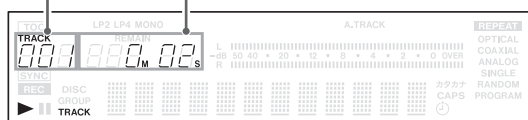
再　生

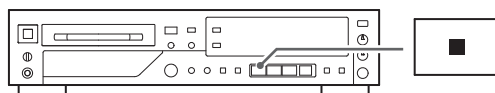
1 電源を入れる。

MDがセットされていない場合は、「No Disc」が表示されます。

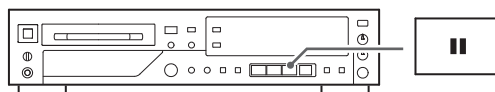
2 MDを入れる。

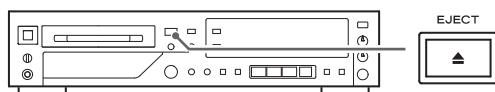
MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。

「TOC Reading」が表示されたあと、MDに名前が付いている場合はディスク名が表示されてから総曲数と総再生時間が表示されます。

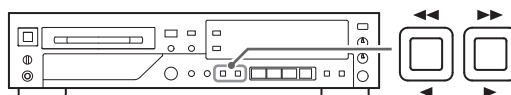
総曲数　総再生時間

3 再生ボタン(►)を押す。

►が点灯し、曲にタイトルが付いている場合は曲名がスクロール表示されたあと、時間表示になります。
一曲目から再生が始まります。

再生中の曲番　再生中の曲の経過時間

再生を止めるには

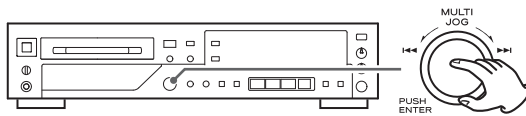
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと一時停止状態になり、ディスプレーの❚❚が点灯します。
再生ボタン(►)を押すと、再び再生を始めます。

MDを取り出すには

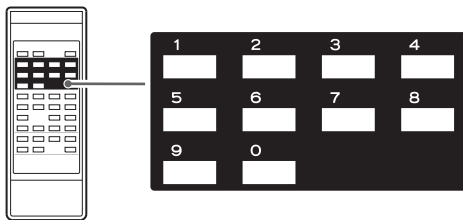
イジェクトボタン(EJECT ⏏)を押してください。再生が停止し、MDが出てきます。

聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にサーチボタン(◄◄/►►)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

再　生　(続き)

好きな曲から再生するには(スキップ)

再生中にマルチジョグ(MULTI JOG)(⏮ / ⏭)を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて回してください。

- 停止中および一時停止中は、曲番を選んでから再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。
- 再生中は、⏮ の方向に1クリック回すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、マルチジョグ(MULTI JOG)を続けて回してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- リモコンの場合ではスキップボタン(⏮ / ⏭)を押してください。

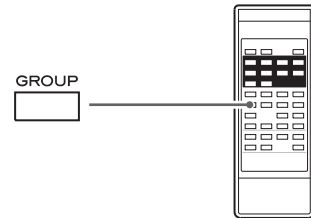
リモコンで再生したい曲を選ぶには

停止中または再生中にリモコンの数字ボタンで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

1桁か2桁数字を入力後、リモコンの再生ボタン(▶)を押すと指定した曲の再生が始まります。リモコンの一時停止ボタン(❚❚)を押すと指定した曲の頭で一時停止状態になります。

- 存在する曲番より大きな数字を入力した場合は、最後の曲が再生されます。

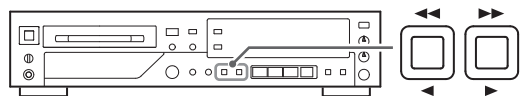
グループ再生

収録曲をグループ分けすることができます。グループモードをオンにすると、選択したグループ内の曲のみが再生できます。プログラム再生、リピート再生などもすべてグループ内で行われます。

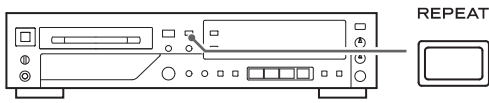
1 グループ再生モードをオンにする。

リモコンのグループボタン(GROUP)を押して、グループ再生モードをオンにします。ディスプレーに「Group ON」が表示されます。「Group OFF」が表示されている場合は、もう一度リモコンのグループボタン(GROUP)を押してください。

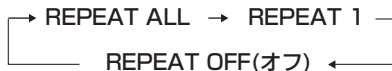
- 14ページ「設定項目」の「GROUP?」でもオン/オフを切り換えることができます。

2 グループを選択する。

停止中に、サーチボタン(◀◀/▶▶)を押すと、ディスプレーに選択中のグループ番号が表示されてからグループ名が表示されます。続けてサーチボタンを押すと別のグループを選択できます。

- グループ再生モードをオンにすると、どのグループにも属さない曲は再生できません。
- グループ再生モードをオンにすると、録音することができません。
- グループ再生モード時は、シャッフル再生は選択できません。

リピート再生

リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピートモードが変わります。

再生中または一時停止中に押した場合は、次のように切り換わります。

→ REPEAT ALL → REPEAT 1 → REPEAT OFF(オフ) →

停止中に押した場合は、次のように切り換わります。

REPEAT OFF(オフ) ←→ REPEAT ALL

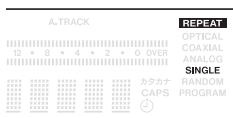
- 電源を切っても、リピートモードは解除されません。リピートモードを解除したいときは、リピートボタン(REPEAT)を押して「REPEAT OFF」を選んでください。

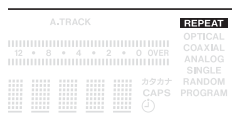
全曲リピート(REPEAT ALL)

MDの全ての曲をくり返し再生します。
シャッフル再生モードでは、MDの全曲のシャッフル再生をくり返します。
プログラム再生モードでは、プログラムした曲がくり返し再生されます。

一曲リピート(REPEAT 1)

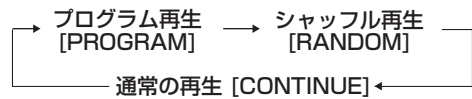
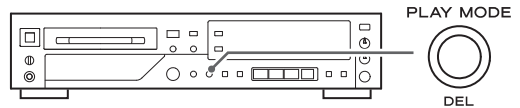
再生中にリピートボタン(REPEAT)を押して「REPEAT1」を選ぶと、再生中の曲がくり返し再生されます。
一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲のくり返し再生に変わります。

- 一曲リピートモードの時に電源を切った場合は、次の電源オン時には全曲リピートモードとなります。
- 一曲リピートモードの時にSTOPボタン(■)を押した場合は、全曲リピートモードになります。

一曲リピートの場合

全曲リピートの場合

シャッフル再生

シャッフル再生モードで再生すると、MDの曲がランダムに再生されます。

停止中にプレイモードボタン(PLAY MODE)を押すたびにモードが変わります。シャッフル再生(RANDOM)を選んでください。

→ プログラム再生 [PROGRAM] → シャッフル再生 [RANDOM] → 通常の再生 [CONTINUE] →

- シャッフル再生中にマルチジョグ(MULTI JOG)を ►►I の方向に1クリック回すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ の方向にクリックすると、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻れません。

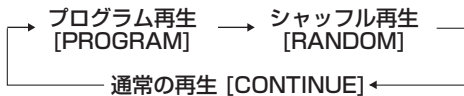
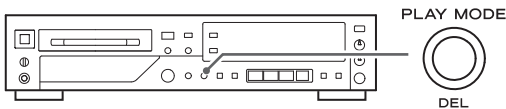
- 電源を切ったり、イジェクトボタン(EJECT ⏏)を押してもシャッフル再生モードは解除されません。シャッフル再生モードを解除したいときは、停止中にプレイモードボタン(PLAY MODE)を押してください。

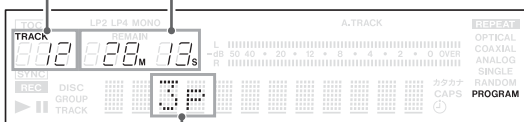
プログラム再生

聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

- 再生中はプログラムできません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

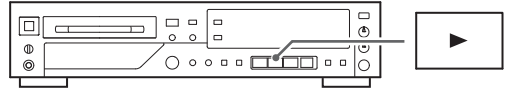
1 停止中にプレイモードボタン(PLAY MODE)を押して、プログラム再生モードにする。

プレイモードボタン(PLAY MODE)を押すたびにモードが変わります。ディスプレーに「PROGRAM」が表示されるまでプレイモードボタン(PLAY MODE)を押してください。

2 曲番を選ぶ。

マルチジョグ(MULTI JOG)をまわして曲番を選んでから、マルチジョグ(MULTI JOG)を押してください。マルチジョグ(MULTI JOG)を押す前に停止ボタン(■)を押すと、その曲はプログラムされません。

リモコンでは、3桁の数字を入力するか、1桁または2桁の数字を入力後、エンターボタン(ENTER)を押してください。

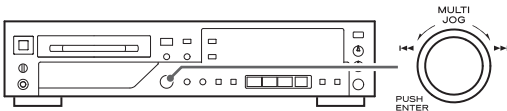
- 存在しない曲番より大きな数字を入力した場合は、最後の曲が選ばれます。
- 間違えてプログラムした場合、エスケープボタン(ESCAPE)を押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。

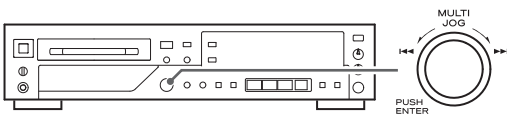
3 曲番を選び終わったら再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。

- 再生ボタン(►)を押さずにSTOPボタン(■)を押すとプログラムデータは消去されます。

- グループモードをオンにしている場合は、グループをまたいだプログラムはできません。
- 32曲をこえると「PGM Full !」が表示されます。
- プログラムした曲の総再生時間が150分00秒以上になると、「－－－m－－s」が表示されます。
- 1曲もプログラムされていない状態で再生ボタン(►)を押すと、ディスプレーに「PGM Empty!」が表示され、動作しません。

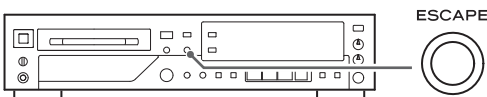
プログラム内容を確認するには

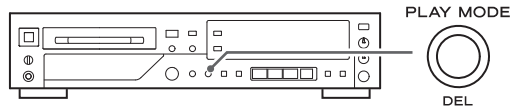
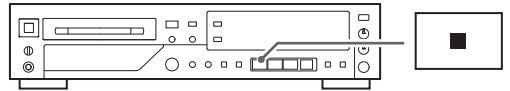
再生中または一時停止中に、本体のマルチジョグ(MULTI JOG)を回してください。リモコンでは、SKIPボタン(►►I)を押してください。プログラムされた順番に曲番が表示されます。

プログラムに曲を追加するには

停止中にマルチジョグ(MULTI JOG)で希望の曲番を選びマルチジョグ(MULTI JOG)を押してください。プログラムの最後に曲が追加されます。
リモコンでは数字ボタンで3桁の数字を入力するか、1桁または2桁の数字を入力後、エンターボタン(ENTER)を押してください。

● 存在しない曲番より大きな数字を入力した場合は、最後の曲が選ばれます。

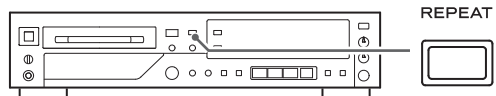
● プログラムの途中に曲を追加することはできません。

プログラムの一部を削除するには

停止中にエスケープボタン(ESCAPE)を押すと、最後にプログラムした曲だけが削除されます。

全てのプログラム内容の消去

停止中に停止ボタン(■)を押したり、プレイモードボタン(PLAY MODE)を押してプログラム再生モードを解除すると、全てのプログラム内容が消去されます。

イジェクトボタン(EJECT ▲)を押したり、電源を切ると、プログラム再生モードは解除しませんが、全てのプログラム内容が消去されます。

プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムしたあと、リピートボタン(REPEAT)を押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

録音の前に

以下の表示が出た場合は録音できません。

停止ボタン(■)を押して表示を消してから、原因を取り除いてください。

「Disc Full!」

MDがいっぱいです。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

「W_Protected!」

誤消去防止状態になっています。MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

再生専用のMDには録音できません。録音用のMDを使用してください。

「D-IN UNLOCK!」

DIGITAL INに機器が接続されていない状態、または接続した機器の電源が入っていないときに入力切換ボタン(INPUT SELECT)でDIGITAL INを選ぶと、表示されます。接続した機器の電源を入れるか、ANALOGを選んでください。

「Track Full!」

トラック数が限界の254に達しています。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

「Can't Copy!」

シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

オートサンプリングレートコンバーター

一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

48kHz ：DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
44.1kHz：DATの標準モード、CD、MDなど。
32kHz ：DATの標準および長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、MDと異なるサンプリング周波数(FS)のデジタル信号が入力された場合、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。
これにより、サンプリング周波数が異なるソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

(DAT：Digital Audio Tape)

デジタル録音するときのルール

シリアルコピーマネージメントシステム

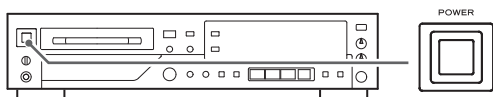
本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音すること(コピー)」を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。
「CD、MDなど市販のデジタル音楽ソフト」や、「アナログレコードやFM放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。

著作権について

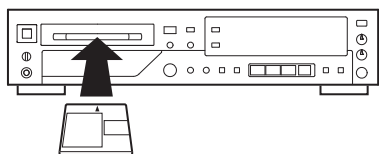
あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先(社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-3261-3444 Fax:03-3261-3447

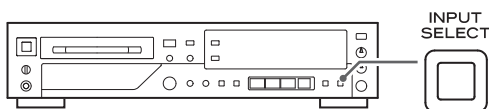
録　音

録音を始める前に、必要に応じて、12〜14ページの「設定」の手順に沿って設定を行ってください。

1 電源を入れる。

MDがセットされていない場合は、「No Disc」が表示されます。

2 録音用のMDを入れる。

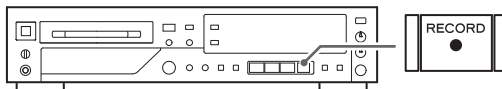
MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。

- 途中まで録音してあるMDを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

3 入力切換ボタン(INPUT SELECT)で入力を切り換える。

ボタンを押すたびに、ANALOGとOPTICALに切り換わります。

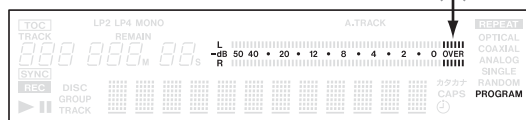
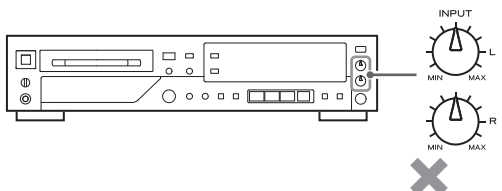
ANALOG(アナログ入力)
LINE IN端子に接続した機器から録音するとき

OPTICAL(デジタル入力)
DIGITAL IN端子と光ケーブルで接続した機器から録音するとき

4 録音ボタン(RECORD ●)を押す。

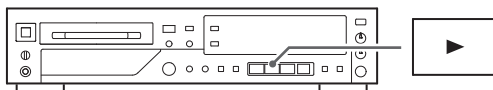
録音待機状態になり、❚❚と「REC」が点灯します。

5 録音レベルを調節する。

アナログ入力の場合

音が最も大きいときにピークレベルメーターの「OVER」の部分が点灯しないように、REC録音レベル調節つまみ(INPUT)をまわして調節してください。
調節できないときは、以下の「入力レベルの調節」で調節してください。

デジタル入力の場合

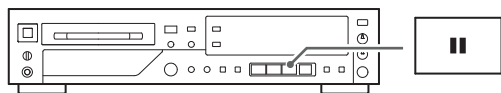
デジタル入力でCDなどを録音する場合、通常は録音レベルを調節する必要はありません。
録音レベルの調節が必要な場合は、12〜14ページ「設定」の「REC VOLUME?」の手順で調節してください。

6 録音を始める。

再生ボタン(►)を押すと、録音が始まります。

- 録音時、MDの残り時間が4秒になると、自動的にフェードアウトして録音を停止します。

録音(続き)

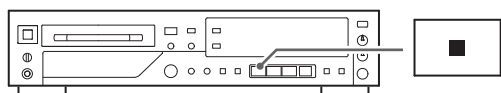
録音を一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと一時停止状態になり、ディスプレーの❚❚が点灯します。再び録音を始めるには、再生ボタン(▶)を押してください。

● 録音を一時停止するたびに、曲番が付きます。

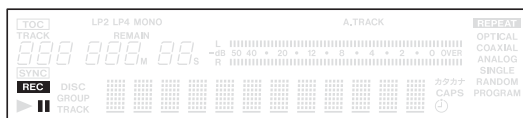
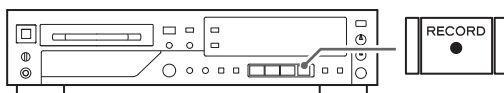
● デジタル接続でMDの録音を開始した後にCDの再生を始めた場合、不要な曲番が付いてしまうことがあります。録音後に編集して削除するか、CDシンクロ録音を行ってください。

● MDの最大録音曲数は254曲です。254曲目の録音時、一時停止ボタン(❚❚)を押すと録音を終了し、停止します。

録音が終わったら

停止ボタン(■)を押して録音を終了してください。「UTOC Writing」が点滅し、UTOCがMDに記録されます。

録音中および「UTOC Writing」の点滅中は、録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

入力されている音をモニターするには

録音ボタン(RECORD ●)を押して録音待機状態にします。

ディスクがセットされていない状態で録音ボタン(RECORD ●)を押すとモニター状態になり、入力切換ボタン(INPUT SELECT)で選択されている機器の音をモニターすることができます。

MDをセットしていない場合でも、録音ボタン(RECORD ●)を押すと入力信号をモニターすることができます。このときは、ディスプレーに「Monitor」が表示されます。

● モニターを終了するときは、停止ボタン(■)を押してください。また、ディスクを挿入すると、モニター状態は解除されます。

● 録音モードが「MONO」になっていても、ステレオで出力されます。

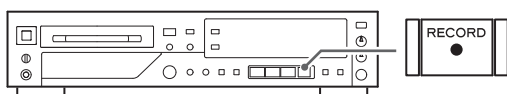
● 以下のようなMDをセットした場合は、録音待機状態になりません。

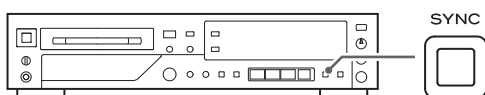
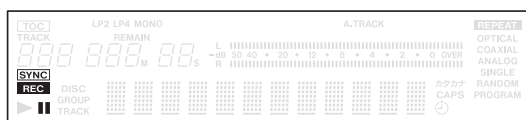
- MDが誤消去防止状態の場合：
  (ディスプレーに「W_Protected!」を表示)
- MDの容量いっぱい録音されている場合：
  (ディスプレーに「Disc Full!」を表示)
- 254曲まで録音されている場合：
  (ディスプレーに「Track Full!」を表示)

● デジタル入力を選択した場合は、正常なデジタル入力がないとディスプレーに「D-IN UNLOCK!」が表示され、モニターすることができません。

シンクロ録音

シンクロ録音とは、入力信号のレベルを検出し、自動的に録音をスタート/一時停止する機能です。
シンクロ録音機能をオンにすると、録音待機状態のとき、アナログ入力で−41dB、デジタル入力で−61dBを超える入力を検出すると、自動的に録音を始めます。
録音中に、アナログ入力で−41dB、デジタル入力で−61dBを下回る入力が8秒以上続くと、録音待機状態になります。再び、前述のレベルを超える入力を検出すると、自動的に録音を再開します。
このとき新しい曲番が付きます。

1 録音ボタン(RECORD ●)を押す。

録音待機状態になります。

2 シンクボタン(SYNC)を押す。

シンクロ録音モードをオンに設定します。
シンクロ録音の準備が整うとディスプレーに「Sync Ready」と表示し、「SYNC」が点灯します。

● このときすでにソースを入力していると、すぐに録音を開始します。

3 ソース信号を入力する。

入力信号を検出して自動的に録音が始まります。
入力信号が8秒以上続けて上記レベル以下になると、録音待機状態になり、ディスプレーに「Sync Standby」と表示してシンクロ録音準備に移ります。
シンクロ録音準備が整ったところで、ディスプレーに「Sync Ready」が表示されます。

● 手動で録音を停止するには、STOPボタン(■)を押します。

● シンクロ録音中、フェードインは働きません。

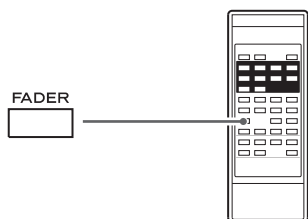
● シンクロ録音待機中に再生ボタンを押して手動で録音を始めることはできません。

● ディスプレーに「Sync Standby」表示中、入力信号を検出してもシンクロ録音は開始しません。

● シンクロ録音後、録音待機状態のまま電源をオフにすると、録音データが消去されます。必ずSTOPボタン(■)を押して(U-TOCを書き込んで)から電源をオフにしてください。

フェードイン/フェードアウト録音

録音を開始するときにフェードイン、録音を終了するときにフェードアウトすることができます。

録音の前に12〜14ページの「設定」に沿って、フェードイン時間/フェードアウト時間を設定してください。
設定範囲は「1」〜「10」秒(1秒単位)です。

1 **録音待機中に、リモコンのフェードボタン(FADER)を押す。**

設定した時間でフェードインしながら録音が始まります。

2 **録音中に、フェードアウトしたいところで、リモコンのフェードボタン(FADER)を押す。**

設定した時間でフェードアウトし、録音待機状態になります。

- フェードインまたはフェードアウトだけ実行することもできます。
- フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。

曲番のつけ方

オートトラック

オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。デジタル信号で曲の変わり目を検出した場合や、入力信号が4秒以上続けて一定のレベル以下になったあとに次の曲が始まった場合に、自動的に新しい曲番が付きます。
12〜14ページの「設定」に沿って、「A_TRK?」を「Level」に設定してください。

「A_TRK?」の設定を「Time」に設定すると、レベルに関係なく一定時間ごとに新しい曲番が付きます。

- リモコンのオートトラックボタン(AUTO TRACK)でも切り換えることができます。
- デジタル接続で、一曲をリピート再生して録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- オートトラックを使って録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。
- デジタル再生機器によっては、曲番の情報をデジタル出力しないものがあります。そのような機器からデジタル接続で録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- 雑音のあるソースや、クラシックなど曲間に非常に音の小さな部分があるソースを録音する場合、うまく曲番を付けられないことがあります。その場合は録音後に編集してください。

手動で曲番を追加するには

録音中に、希望の箇所で録音ボタン(RECORD ●)を押すことにより、曲番を追加することができます。
一時停止ボタン(❚❚)を押して一時停止してから、録音を再開したときも、新しい曲番が追加されます。

- 254曲目の録音時は、録音ボタン(RECORD ●)を押しても無視されます。一時停止ボタンを押した場合は、録音が停止します。

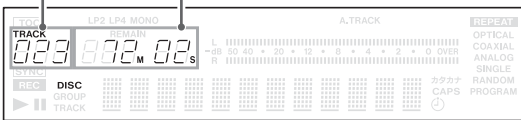
録音後に曲番を追加するには

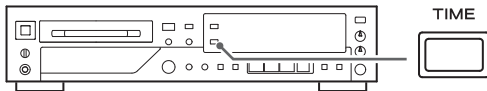
編集操作で曲を分割することにより、曲を追加することができます。(27ページ)
また編集操作で曲を結合することにより、曲を減らすことができます。(28ページ)

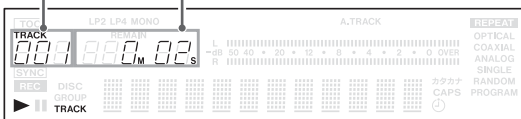
ディスプレーの表示

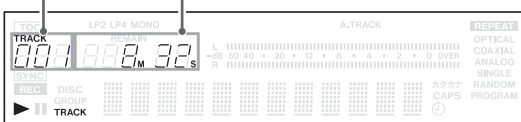
停止中の表示

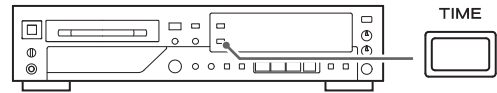
停止中は、現在のMDの録音総曲数と総再生時間が表示されます。

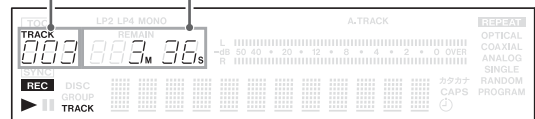
総曲数　**総再生時間**

再生中の表示

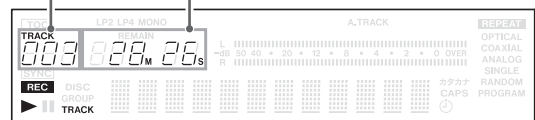
再生中(または一時停止中)にタイムボタン(TIME)を押すと、時間表示が以下の順に切り換わります。

再生中の曲の経過時間

再生中の曲番　**再生中の曲の経過時間**

再生中の曲の残り時間

再生中の曲番　**再生中の曲の残り時間**

録音中の表示

録音中にタイムボタン(TIME)を押すと、時間表示が以下の順に切り換わります。

録音中の曲の録音経過時間

録音中の曲番　**録音中の曲の録音経過時間**

MDの録音可能時間

録音中の曲番　**録音可能時間**

ディスク名や曲名の表示

停止中に、ディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、現在のディスク名がディスプレーに表示されます。

再生中または一時停止中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、現在の曲名が表示されます。

タイトルを記録していない場合は、ディスプレーに「No Title」が表示されます。

編集の前に

録音した曲を、消したり移動したり分割したりして編集することができます。また、ディスク名や曲名を付けることもできます。(再生専用のMDは編集できません)

- 再生モードが通常再生(Continue)モードで、グループ再生モードがオフのときにのみ編集できます。

- MDが誤消去防止状態になっていると編集できません。そのMDを編集したい場合は、MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

編集対象曲/ポイントについて

編集項目「DIVIDE」、「COMBINE」は、あらかじめ編集対象の曲やポイントを再生状態または一時停止状態にしておかないと、項目自体を選択できません。(ディスプレーに「Can't Edit!」を表示)

「Disc Error !」が表示されたら

正常なはずのMDで「Disc Error !」が表示された場合は、MDを入れ直してみてください。

- 「Disc Error !」が表示された場合、MDの内容を全て消去することはできますが、編集結果を取り消すことはできません。

編集が終わったら

録音/編集すると、「TOC」が点灯します。録音/編集した内容がMDに記録されると「TOC」が消灯します。

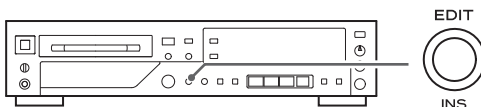
「UTOC Writing」が表示されているときは
編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

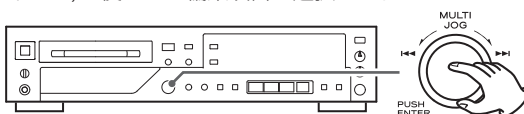
編集を中止するには

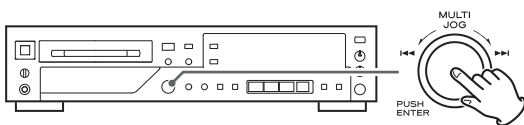
設定表示や確認表示(「Sure?」)まで進んでから編集操作を中止するには、STOPボタン(■)を押します。
項目選択中に編集操作をやめるには、編集ボタン(EDIT)を押します。

編集項目の選択方法

1 編集ボタン(EDIT)を押す。

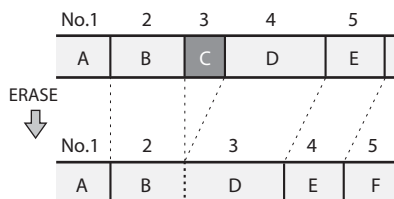
編集モードに入り、ディスプレーに編集項目が表示されます。

2 編集する項目を選択する。

マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの −/+ボタン)を使って、編集項目を選択します。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)を押す。

リモコンではエンターボタン(ENTER)を押します。
ディスプレーに選択した編集項目名と現在の設定値が表示されます。

- 編集項目選択後の操作は、項目によって異なります。具体的な操作については、27〜31ページをご覧ください。

編　集

一曲だけ消去するには(ERASE TRK)

例：曲番3を消去する場合

1 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「ERASE TRK?」を選択する。

「Track> ###」(### は最終曲番)が表示されます。

2 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの －/＋ボタン)で、消去したい曲を選択する。

「Track> 3」を表示するように調節します。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

4 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

曲を消去します。消去が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

- 曲を消去すると、次の曲以降の曲番が自動的に1つずつ小さくなります。

全ての曲を消去するには(ERASE DISC)

1 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「ERASE DISC?」を選択する。

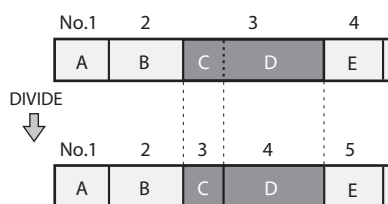
ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

2 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

MDの全曲を消去します。消去が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

曲を分割するには(DIVIDE)

ひとつの曲として録音されたものをいくつかに分割することができます。アナログ録音したMDなどで、ひとつの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出しのための曲番を付けたいときに、この機能が使えます。分割したところよりあとの曲には、連続した新しい曲番が付きます。リハーサル機能を使うと、分割する位置を正確に指定できます。

例：曲番3を分割する場合

1 分割したい曲を再生または一時停止にする。

2 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「DIVIDE?」を選択する。

ディスプレーに「Point> 0」が表示され、確認のために分割ポイント(＝上記のボタン操作を行ったときのポイント)の直後の数秒間が繰り返し再生されます。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの－/+ボタン)で、分割するポイントを調節し、マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

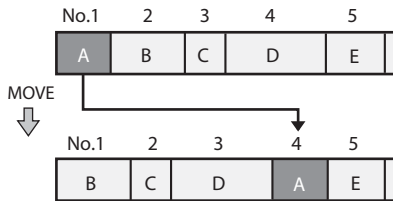
ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

4 もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

曲が分割されます。分割が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

- 曲にタイトルが付いている場合は、分割された曲の後ろの曲にも同じタイトルが付きます。
- 以降の曲の曲番は、自動的に1つずつ大きくなります。
- 各曲の先頭では、この編集は行うことができません。

曲を移動するには(MOVE)

例：曲番1から曲番4に移動する場合

1 移動したい曲番を再生または一時停止にする。

● この操作を行わずに停止状態で以後の操作を行うと、自動的に最終曲が移動対象に選ばれます。後で移動対象の曲を変更するこもできます。

2 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「MOVE?」を選択する。

「Move 1 > 2」が表示されます。
(1 は移動元曲番、2 は移動先曲番)
必要に応じてサーチボタン(◀◀/▶▶)で、移動対象の曲番を選択します。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの－/+ボタン)で、移動先の曲番を選択する。

「Move 1 > 4」を表示するように調節します。

4 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

5 もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

曲が移動します。移動が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

● 編集作業後、曲番がふり直されます。

曲を結合するには(COMBINE)

連続した2つの曲を1つにつなぐことができます。つながれた曲の曲番と曲名は削除され、1つ目の曲の曲番と曲名が付きます。
それ以降の曲の曲番は自動的に1つずつ小さくなります。

● 録音モードが異なる曲をつなげることはできません。
3曲以上をつなげる場合は、ST(標準)モードで約9秒、MONOモードおよびLP2モードで約17秒、LP4モードで約33秒以下の曲をつなげることはできません。

例：曲番5を曲番6とつなげる場合

1 つなぎたい曲番を再生または一時停止にする。

選択した曲番が、ひとつ前の曲とつながれます。
たとえば曲番5と6をつなげる場合は、曲番6を選んでください。

● MDの先頭の曲ではこのモードは選べません。「1st Track!」が表示されます。1曲目と2曲目をつなげる場合は、曲番2を選んでください。

2 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「COMBINE?」を選択する。

ディスプレーに「Track OK?」が表示され、確認のために、手前の曲の最後の3秒間とあとの曲の頭の3秒間を繰り返し再生します。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

4 もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

曲が結合されます。結合が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

グループ作成時のディスク名

グループを作成しても、ディスク名表示が変わることはありません。ただし、グループを作成すると、グループ情報およびグループ名を含むディスク名が自動的に作成されるため、実際にはディスク名が変更されています。
例えば、ディスク名が「My Best」、曲番1 ～ 4をまとめて「Jazz」というグループにまとめ、曲番5 ～ 8を「Latin」というグループにまとめた場合は、次のようなディスク名になります。

0：My Best//1-4：Jazz//5-8：Latin//

本機でグループを作成したMDを他のミニディスクデッキに挿入すると、上記のようなディスク名が表示されます。

●MDデッキによっては表示されない場合もあります。

グループを作るには(GRP CREATE)

本機では、1枚のMDの中の曲をグループ分けして、グループ単位の再生を行うことができます。
グループを作るには「何曲目(新しいグループの第1曲)から何曲目(新しいグループの最終曲)までを1つのグループにまとめる」という指定を行います。

- グループモードがオンになっているとグループ編集はできません。リモコンのグループボタン(GROUP)または12～14ページの「設定」の「GROUP?」でオフに設定してください。

1 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「GRP CREATE?」を選択する。

ディスプレーに「ST Trk> 001」が表示されます。

2 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの－/+ボタン)で第1曲を選択し、マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「ED Trk> ###」が表示されます。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの－/+ボタン)で最終曲を選択し、マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

4 もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

グループが作成されます。作成が完了するとディスプレーに「Complete」が表示され、通常表示に戻ります。

- グループ作成時にグループ番号を付けます。
- 新規に作成されたグループ以降のグループ番号は、1つずつ大きくなります。
- グループ番号は、曲番の順番で付きます。
- 1つの曲を複数のグループに含めることはできません。

編　集　(続き)

グループを解除するには(GRP CANCEL)

作成されたグループを解除することができます。

● グループモードがオンになっているとグループ編集はできません。リモコンのグループボタン(GROUP)または12〜14ページの「設定」の「GROUP?」でオフに設定してください。

1 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「GRP CANCEL?」を選択する。

ディスプレーに「Group No> 01」が表示されます。

2 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの−/+ボタン)で、解除するグループ番号を選択する。

現在ある個々のグループ番号のほかに「ALL」(全グループ)を選択することもできます。

3 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに「Sure?」が表示されます。

4 もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

グループが解除されます。解除が完了するとディスプレーに「Complete」が表示されます。

● 解除されたグループ以降にグループが存在する場合は、以降のグループ番号が1つずつ小さくなります。

タイトルの編集

MDにタイトルを付ける

1 編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「TITLE INPUT?」を選択する。

ディスプレーに「Title> Disc」が表示されます。

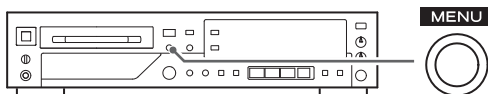
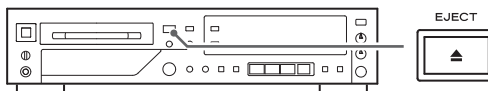
● 上記手順の代わりに、リモコンのタイトルボタン(TITLE)を押すことにより、上記と同じようにディスプレーに「Title> Disc」が表示されます。

2 マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。

ディスプレーに現在のMD名が表示され、編集モードになります。(カーソルが点滅します)

● MD名が付いていない場合は、何も表示しません。(カーソル点滅のみ)

3 タイトルを入力する。

「文字の入力方法」(32ページ)に沿ってMDにタイトルを付け、メニューボタン(MENU)を押して確定します。

4 MDを取り出す。

● グループ設定をしているMDの場合は、グループモードをオンにしてタイトルを付けてください。グループモードをオフにしてディスク名を変更すると、グループ設定が無効になる場合があります。

● タイトルを編集後にMDを入れたまま(「TOC」点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。
MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してください。

曲にタイトルを付ける

1 **停止中に編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「TITLE INPUT?」を選択する。**

ディスプレーに「Title> Disc」が表示されます。

● 上記手順の代わりに、リモコンのタイトルボタン(TITLE)を押すことにより、上記と同じようにディスプレーに「Title> Disc」が表示されます。

2 **曲番を選択する。**

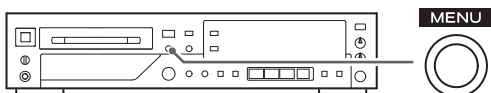
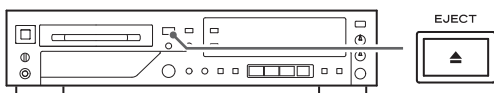
マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの −/+ボタン)で、タイトルを付ける曲を選択します。
例えば、曲番3を選択する場合は、「Title> 3」を選択します。

3 **マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。**

ディスプレーに現在の曲名が表示され、曲名編集モードになります。(カーソルが点滅します)

● タイトルがない場合は、何も表示しません。(カーソル点滅のみ)

4 **タイトルを入力する。**

「文字の入力方法」(32ページ)に沿って曲にタイトルを付け、メニューボタン(MENU)を押して確定します。

5 **MDを取り出す。**

● タイトルを編集後にMDを入れたまま(「TOC」点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。
MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してしてください。

グループにタイトルを付ける

1 **停止中に編集項目の選択方法(26ページ)に沿って、「TITLE GROUP?」を選択する。**

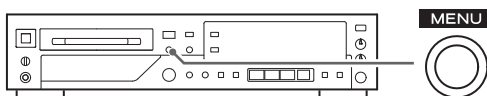
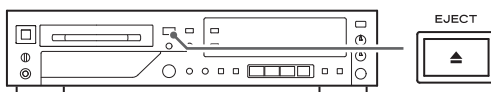
ディスプレーに「Title Grp> ##」(##はグループ番号)が表示されます。

2 **もう一度マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンのENTERボタン)を押す。**

ディスプレーに現在のグループ名が表示され、タイトル編集モードになります。(カーソルが点滅します)
また曲番表示部にグループ番号が表示されます。

● タイトルがない場合は、何も表示しません。(カーソル点滅のみ)

3 **タイトルを入力する。**

「文字の入力方法」(32ページ)に沿ってグループにタイトルを付け、メニューボタン(MENU)を押して確定します。

4 **MDを取り出す。**

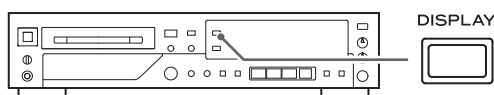
● タイトルを編集後にMDを入れたまま(「TOC」点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。
MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してしてください。

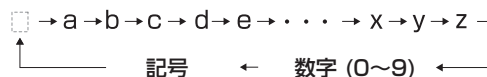
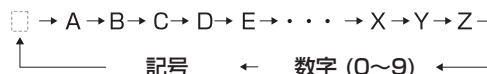
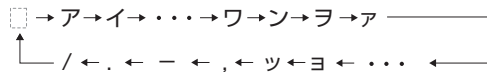
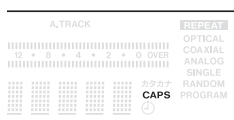
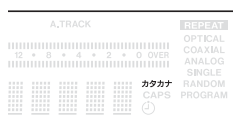
タイトルの編集(続き)

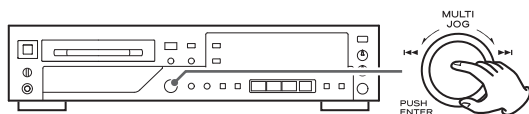
文字の入力方法

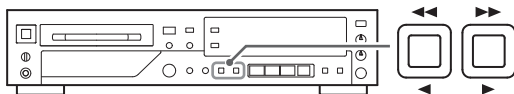
カタカナ、アルファベットの大文字と小文字、数字、記号を使って、曲やMDにタイトルを付けることができます。タイトルは再生中に表示され、タイトルで曲を探すこともできます。

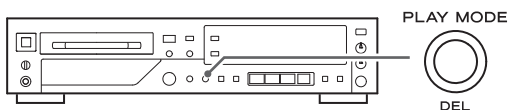
ディスプレーにカーソルが点滅した状態がタイトル編集モードです。

入力する文字種を選択するには

ディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、以下の3通りの文字種が切り換わります。

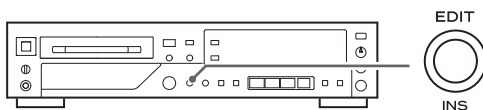
表示なし：アルファベット小文字

CAPS：アルファベット大文字

カタカナ

(記号　:;＜＝＞?@!"#＄%&'(　)*+,-./_`

アルファベット大文字を選択　　カタカナを選択

入力するには

マルチジョグ(MULTI JOG)(またはリモコンの －/＋ボタン)またはスキップボタン(⏮/⏭)で、カーソルの位置の文字を選択します。

カーソルを移動するには

サーチボタン(◀/▶)を使います。

文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせて、削除ボタン(DEL)を押します。

リモコンではエスケープ/クリアーボタン(ESCAPE/CLR)を押します。

空白を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを置き、本体の編集ボタン(INS)、またはリモコンの編集ボタン(EDIT)を押します。

文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

- タイトルを入力しているとき、STOPボタン(■)を押すと、入力内容をキャンセルし、タイトル入力モードを抜けます。
- タイトルを編集後にMDを入れたまま(「TOC」点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。
  MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してください。

キーボードの使い方

市販のPS/2インターフェースのキーボードを本体前面のKEYBOARD端子に接続すると、選曲や編集、タイトル入力などをキーボードで行うことができます。

あらかじめ、12〜14ページの「設定」に沿って、「KEYBOARD?」でキーボードの種類を選んでください。

タイトルを入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、ディスク名、曲名、グループ名を入力することができます。

入力するには数字キー、文字キーで直接入力します。
文字を修正するにはカーソルを合わせて上書きします。

キーボード操作一覧

タイトルの入力だけでなく、トランスポートコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。

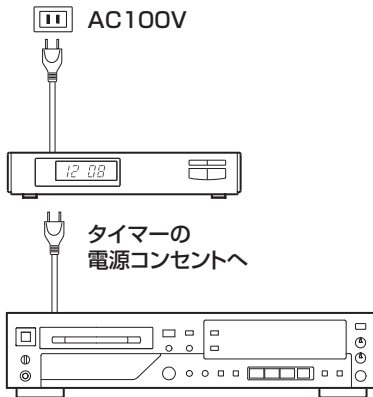
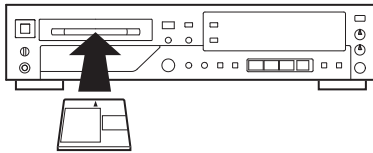
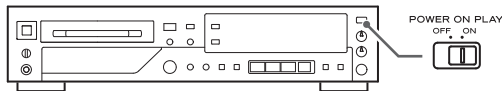
本機の動作	キーボード
⏮	F1
⏭	F2
STOPボタン (■)	F4
再生ボタン (▶)	F5
一時停止ボタン (❚❚)	F6
RECORD (●)	F8
REPEAT	F10
PLAY MODE	F11

編集	
一曲消去(ERASE TRK)	SHIFT + F1
全曲消去(ERASE DSC)	SHIFT + F2
曲の移動(MOVE)	SHIFT + F4
曲の分割(DIVIDE)	SHIFT + F5
曲の結合(COMBINE)	SHIFT + F6
グループ解除(GRP CANCEL)	SHIFT + F10
グループを作る(GRP CREATE)	SHIFT + F11

タイトルの編集	
グループ名入力(TITLE GRP)	SHIFT + F7
タイトル入力(TITLE INPUT)	SHIFT + F8
「英大文字」を選択/解除	CAPS
「カタカナ」を選択/解除	カタカナ
数字/文字の入力	数字/文字
カーソルを移動	←/→
カーソルの位置の文字を削除	Delete
カーソル手前の文字を削除	Back Space
カーソルの位置に空白を挿入	Insert
編集をキャンセル	ESC
エンターボタン(ENTER)と同じ	Enter

タイマーで自動再生をする

再生用のMDをセットした状態でTIMERスイッチをPLAYにすると、本機の電源が入ったときに自動的に再生を始めます。
市販のオーディオタイマーを使うと、設定した時刻に再生を始めることができます。

1 本機の電源プラグをオーディオタイマーのアウトレットに接続する。

2 再生するMDをセットする。

3 本体のパワーオンプレースイッチ(POWER ON PLAY)をPLAYにセットする。

ディスプレーの「⏲」が点灯します。

● MDをセットしていない状態でパワーオンプレースイッチ(POWER ON PLAY)をPLAYにセットした場合は、ディスプレーの「⏲」が点滅します。

4 タイマーをセットする。

希望の時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

● 電源をオフにしたときの再生モードがプログラム再生だった場合、プログラム内容は電源オフとともに破棄されるため、電源が入ったときに再生モードを通常再生(Continue)モードに自動的に変更して再生を行います。

システム上の制約について

MD(ミニディスク)は、従来のカセットやDATと録音の方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。その制約により、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

録音可能時間内であっても「Track Full!」を表示する。

➡ 時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Track Full!」が表示されます。本機の最大録音曲数は254曲です。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、曲を結合するか、あるいは別のMDに分けて録音してください。

曲数も録音時間も余裕があるのに「Track Full!」を表示する。

➡ 曲の中にエンファシス情報などの入/切が行われると、これらは曲の区切りと同じ扱いになるため、時間や曲数に関係なく「Track Full!」を表示する場合があります。また、短い曲(ST：9秒以下、LP2：17秒以下、MONO：17秒以下、LP4：33秒以下)が作成された場合も、管理上の仕様により、削除しても「Track Full!」と表示する場合があります。

曲を消したがMDの残り時間が増えない。

➡ MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。

➡ 通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その部分の時間が減ります。

曲を結合する(COMBINE)ことができない場合がある。

➡ 編集してできた曲は、結合できない場合があります。

➡ 録音モード(ST、MONO、LP2、LP4)の異なる曲をつなげることはできません。

➡ 3曲以上をつなげる場合は、STモードで約9秒、MONOモードおよびLP2モードで約17秒、LP4モードで約33秒以下の曲をつなげることはできません。

サーチを行うと音がとぎれることがある。

➡ 編集してできた曲は、サーチすると音がとぎれる場合があります。

曲番が正確に付かないことがある。

➡ デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短い曲ができる場合があります。また、オートトラック機能を使って自動的に曲番を付けた場合は、録音するものの内容によって曲番が正確につかないことがあります。

タイトルが1700文字入らない。

➡ タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1700文字入りきらない場合があります。

メッセージ一覧

動作メッセージ

本機の動作に応じて、ディスプレーに以下のメッセージが表示されます。

Blank Disc
　何も録音されていない録音用MDが入っています。
UnknownDisc!
　MDに異常があります。MDを交換してください。
Complete
　編集が正常に完了しました。
TOC Reading
　TOC情報読み取り中です。
UTOC Writing
　U-TOC情報書き込み中です。
Now Editing
　編集実行中です。

警告メッセージ

操作を受け付けない場合は、ディスプレーに以下のようなメッセージが表示されます。

Disc Error!
　MDに異常があります。MDを交換してください。
Disc Full!
　MDの残り時間が無いため、録音できません。
Title Full!
　タイトルがいっぱいです。
D-IN UNLOCK!
　デジタル入力が接続されていません。DIGITAL IN端子に接続した機器の電源を入れてください。
Not Execute!
　MDのシステム上の制約により、編集が完了できませんでした。
Not Audio!
　DIGITAL INからの入力信号がオーディオ信号ではありません。
PGM Empty!
　プログラムされていません。
PGM Full!
　これ以上プログラムできません。
W_Protected!
　MDが誤消去防止状態になっています。
Pre Master!
　再生専用のMDが入っています。
Can't Edit!
　MDのシステム上の制約、編集状態の制限により、編集できません。
Group Mode!
　グループモードがオンのため、編集できません。
NotContinue!
　再生モードがコンティニューモードではないため編集できません。
Not Stopped!
　停止状態ではないため編集できません。
Sync Rec ON!
　シンクロ録音待機中のため、手動での録音開始ができません。
Rec Execute!
　録音動作を行ったため、録音モードの変更ができません。
Can't Sel!
　選択禁止状態時のため、メニューの選択ができません。
Mecha Error!
　MDの読み込みや録音、再生にエラーが発生しました。やり直してください。
No Group!
　グループが登録されていません。
Entry Track!
　すでにグループ登録されている曲を登録しようとしています。
Random Mode!
　再生モードがシャッフル再生モードのため、グループモードをONにできません。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない

➡ 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

「Disc Error !」、「Mecha Error!」が表示される。

➡ MDが損傷しています。MDを交換してください。

「System Err!」が表示される。

➡ MDデッキの故障が考えられます。ティアック修理センターにご連絡ください。

再生できない。

➡ 結露している場合は、MDを取り出して数時間放置してください。
➡ 何も録音されていないMDが入っている場合は、録音されているMDを入れてください。
➡ MDは矢印の向きに挿入してください。

音が出ない。

➡ システムとの接続をもう一度確認してください。
➡ 音量等、アンプの操作を確認してください。

リモコンで操作できない。

➡ 本体の電源ボタン(POWER)を押してオンにしてから操作してください。
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ リモコン設定モードを「Enable」にしてください。(14ページ)

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は、本機のリモコンを操作する間は他の機器の電源を切ってください。

操作通りに動かない。

➡ 本機では、モードや設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによっては､バックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切らないでください。

録音できない。

➡ MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。
➡ システムとの接続をもう一度確認してください。
➡ 録音レベルを調節してください。
➡ 再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。
➡ MDの残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかMDを交換してください。
➡ アンプの操作を確認してください。
➡ シンクロ録音では、アナログ入力で−41dB、デジタル入力で−61dBを下回るレベルの音しか入ってこない場合は、録音が始まりません。(23ページ)

雑音がする。

➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、約1 ～ 2時間放置した後、電源を入れてお使いください。正常に動作するようになります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

仕　様

形式 . . . . ミニディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数 . . . . 2チャンネル(ステレオ)
1チャンネル(モノラル)
レーザー . . . . 半導体レーザー
記録方式 . . . . 磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式 . . . . 非接触光学読み取り

録音再生時間(80分MD使用時) . . . . 標準：80 分
MONO：160 分
LP2：160 分
LP4：320 分
回転数 . . . . 約400rpm ～ 900rpm(CLV)

サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性 . . . . 再生時：20 ～ 20kHz(±0.5dB)
録再時：20 ～ 20kHz(±1.0dB)
ワウフラッター . . . . 測定限界値以下
ダイナミックレンジ
94dB以上(再生時、20kHz LPF + A- weighted)
92dB以上(録音時、20kHz LPF + A- weighted)
S/N比
94dB以上(再生時、20kHz LPF + A- weighted)
92dB以上(録音時、20kHz LPF + A- weighted)
全高調波歪率
0.006%以下(再生時、1kHz：20kHz LPF)
0.008%以下(録音時、1kHz：20kHz LPF)
ライン出力レベル 2.0Vrms

電源 . . . . AC100V，50-60Hz
消費電力 8W
外形寸法(幅、高さ、奥行) . . . . 435×101×309mm
質量 3.8kg

付属品 . . . . リモコン(RC-1232)×1個
乾電池(単4形、SUM-4)×2本
入出力コード×2本
取扱説明書(本書)
保証書

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更されることがあります。

● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書
この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
37ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：ミニディスクデッキ MD-50
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット
楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0910·MA-1542D